

地域県土警察常任委員会資料

(令和6年3月19日)

- 「令和5年政策評価報告書」及び「令和6年推進・評価計画書」の策定について
..... 2
(警務部警務課)

警 察 本 部

「令和5年政策評価報告書」及び「令和6年推進・評価計画書」の策定について

令和6年3月19日
警察本部
(警務部警務課)

1 政策評価の目的

鳥取県警察における政策評価については、平成17年から毎年実施しており、県民の視点に立った効率的かつ効果的な警察活動を推進し、その結果を県民に公表して県民の理解と協力を得ることを目的としている。

2 政策評価結果及び計画

(1) 令和5年政策評価報告書の概要(抜粋)

○ 総合的な犯罪抑止対策の推進

刑法犯認知件数は2,100件と3年連続で増加しており、2,000件以下の抑止目標を達成できなかったことから、地域の犯罪情勢に応じた犯罪抑止対策を粘り強く推進する必要がある。特殊詐欺は認知件数が過去最多となる74件と極めて厳しい状況となった一方で、阻止件数は75件と認知件数を上回り、被害防止に大きく貢献した。

○ 重要犯罪等の検挙と組織犯罪対策の推進

強盗致傷事件、非現住建造物等放火事件等の重要犯罪を始め、架空料金請求詐欺の現金回収役被疑者を「だまされた振り作戦」により検挙したほか、特定抗争指定暴力団等の指定期限の延長、暴力団に対する取締りの推進、暴力団対策法に基づく中止命令や賞揚等禁止命令の発出など、総合的な暴力団排除活動を推進した。

○ 交通死亡事故抑止に資する総合対策の推進

総合的な交通事故抑止対策を推進した結果、交通事故死者数は前年に引き続き14人で統計を取り始めた昭和23年以降で昭和24年の9人に次ぐ最少を継続した。

○ テロの未然防止と緊急事態対策の推進

「鳥取県警察国際テロ対策強化要綱」に基づく国際テロの未然防止等に向けた各種対策のほか、大規模災害の発生を想定した機能移転訓練等の緊急事態対策、官民一体となったサイバー攻撃対策等の諸対策を推進するとともに、警護の実施に当たっては、警護対象者等の身の安全確保に万全を期した。

○ 警察活動基盤の充実強化

リモートによる仕事説明会など積極的に採用募集活動を推進したほか、「犯罪被害者支援大学生ボランティア」の運用を開始するなどの犯罪被害者支援活動への取組、「鳥取県警察職員ワークライフバランス等推進計画」に沿った取組等を推進した。

(2) 令和6年推進・評価計画書の概要(抜粋)

○ 総合的な犯罪抑止対策の推進

重大事案に急展開するおそれが高く、社会に与える影響が大きい人身安全関連事案への迅速かつ的確な対応を始め、サイバーセキュリティ、サイバー犯罪対策等の推進、少年非行防止・保護総合対策など、「鳥取県犯罪のないまちづくり推進計画」も踏まえつつ、防犯ボランティア等と協働した犯罪の起きにくい社会づくりを推進する。

○ 重要犯罪等の検挙と組織犯罪対策の推進

社会情勢の変化に適応した警察捜査を推進するほか、体感治安に大きな影響を及ぼす重要犯罪、重要窃盗犯、重要知能犯、特殊詐欺等の検挙活動並びに暴力団対策、薬物・銃器対策、来日外国人犯罪対策及び犯罪収益対策等を推進する。

○ 交通死亡事故抑止に資する総合対策の推進

交通事故情勢を踏まえ、効果的な交通事故防止対策及び適正かつ的確な交通警察業務を推進するとともに、大規模災害や社会環境の変化に対応した交通対策を推進する。

○ テロの未然防止と緊急事態対策の推進

テロの未然防止対策や自然災害等の緊急事態に迅速かつ的確に対処できる総合的な諸対策を推進するほか、大規模警備等を見据えた警備諸対策、諸情勢に的確に対応した警護の徹底・強化を図るための各種取組を推進する。

○ 警察活動基盤の充実強化

人的基盤強化のための採用募集活動を推進するほか、事態対処能力の向上、県民の安全に資する広報等の推進及び「鳥取県警察職員ワークライフバランス等推進計画」を踏まえた取組を推進する。

3 県民への公表

鳥取県警察のホームページに掲載(概要版)するほか、各警察施設の窓口に備え付けて公表し、その内容に関する県民からの意見、要望等を受け付けることとしている。